

# 特別会計

国民健康保険事業	84億6,067万円
後期高齢者医療事業	8億7,782万円
老人保健事業	9億6,554万円
介護保険事業	66億5,785万円
介護サービス事業	9,572万円
戸別浄化槽整備事業	5,741万円
小規模水道事業	294万円
休日夜間急患センター事業	3,791万円
田代診療所事業	8,244万円
公設総合地方卸売市場事業	824万円
農業集落排水事業	14億845万円
公営駐車場事業	4,365万円
温泉開発事業	1,257万円
奨学資金事業	3,327万円
都市計画事業	5億7,825万円
土地取得事業	4千円
宅地造成事業	2,391万円
財産区	1,895万円

# 企業会計

病院事業	138億3,611万円
水道事業	21億7,884万円
工業用水道事業	7,006万円
下水道事業	30億5,156万円

## 平成20年度一般会計予算(性質別の歳出内訳)

項目	20年度当初 (A)	19年度6月補正後 (B)	増減額 (A)-(B)=(C)	増減率 (C)/(B)(%)
I 消費的経費	182億7,353万9千円	188億7,096万6千円	△5億9,742万7千円	△3.2
1 人件費	65億1,446万6千円	68億1,228万9千円	△2億9,782万3千円	△4.4
2 物件費	36億4,339万1千円	37億7,477万8千円	△1億3,138万7千円	△3.5
3 維持修繕費	3億768万7千円	3億3,245万1千円	△4,523万6千円	△7.4
4 補助費等	26億3,490万6千円	28億6,397万9千円	△2億2,907万3千円	△8.0
5 扶助費	43億2,254万9千円	42億2,985万2千円	9,269万7千円	2.2
6 貸付金	6億900万円	6億900万円	0円	0.0
7 投資及び出資金	2億4,154万円	2億4,861万7千円	△707万7千円	△2.8
II 投資的経費	21億1,988万4千円	30億7,133万6千円	△9億5,145万2千円	△31.0
1 普通建設事業	20億8,536万6千円	30億7,133万5千円	△9億8,596万9千円	△32.1
2 災害復旧事業	3,451万8千円	1千円	3,451万7千円	皆増
III 公債費	42億6,202万6千円	41億2,161万円	1億4,041万6千円	3.4
IV 繰出金	31億2,629万6千円	29億4,380万6千円	1億8,249万円	6.2
V 積立金	971万8千円	7億7,646万円	△7億6,674万2千円	△98.7
VI 予備費	5,000万円	5,150万円	△150万円	△2.9
歳出合計	278億4,146万3千円	298億3,567万8千円	△19億9,421万5千円	△6.7

### 用語解説

一般会計 主に市税をもとに、市が基本的な行政サービスを行うための会計です。

特別会計 特定の事業の歳入と歳出を、一般会計と区別して経理する場合に、法律や条例で設ける会計。本市では、国民健康保険や介護保険など18の特別会計を設置しています。

企業会計 地方公共団体が経営する企業の会計で、独立採算が原則。本市では、病院事業など四つ設置しています。

依存財源 国や県から交付されるお金

自主財源 市が単独で賄うことができるお金

義務的経費 人件費など支出が義務付けられている経費

投資的経費 道路や学校の整備など社会資本として将来に残るものの整備経費

### 一般会計

#### 歳入

財源の根幹をなす「市税」は、81億6700万円、29・3%。同じく「地方交付税」は102億6千万円で36・8%であり、合わせて全体の3分の2を占めています。

#### 歳出

持続可能なコンパクトでバランスの取れた行政体の構築を目指し、市民サービスの維持向上を念頭に、市民生活基盤整備事業や少子高齢化対策などに対処した予算としました。とりわけ、投資的経費では、扇田まちづくり事業、御成町南地区整理事業、中心市街地まちづくり事業などを計画的に進めるために予算配分します。